# しおん



曹洞宗醫王山慶昌院
令和元年度寺報

## 慶昌院の山号（さんごう）




### 「醫王山（いおうざん）」

「醫」は「医」の古字体であり、「医王」とは薬師如来の別名。

慶昌院には「薬師如来の山」という意味の山号がついています。
開基である松原廣長公が今村城築城の際、地域の安寧を祈願してお薬師様を祀られたというお寺の起源を今に伝える称号です。
（山号とはお寺の場所や由来をしめす別称のこと）



# 祖父浄天和尚のこと

東堂（十九世）伊藤正康

昨年秋、当山十六世宏嶽浄天大和尚の五十回忌をつとめました。その節は檀信徒の皆様にも大勢お参りいただき有難うございました。

祖父浄天和尚は昭和八年、京都府園部町の大蔵寺という寒村寺院の住職を辞し、縁ありこの瀬戸の地へ来ました。父兄弟は男ばかりの五人、一番下の叔父は未だ七ヵ月だったそうです。当時慶昌院はちょうど現在の本堂の新築計画が立ち上がっていたところでした。前住職が病弱であられたため、その後を継ぐべく着任早々責任を負わされる事になります。資金面等大変な苦労があったと想像出来ますが、加えて着工から間もなく先の大戦に突入し、暫く手付かずのまま放置された状態であったと聞きます。昭和二十五年、晴れて落慶*さらに禅師様をお迎えしての大授戒会*もつとめられました。

祖父はもともとは名古屋の在家の生まれです。たまたま兵庫県のお寺に嫁がれた一番上の姉に中々子が授からない事由で、実弟の祖父は養子として出家する事になったのです。しかし皮肉なことに暫くして子は授かり、同寺を離れた祖父は伊藤の姓を残したまま大須の某寺の縁を頼り、娘であった祖母の親族と共に京都へと転じます。

私もこの年になり漸く祖父の半生を語られる迄になりましたが、一言で云って「流転の人生」苦労の連続です。二男の父は祖父のちょうど十年後に遷化（他界）しました。九年後には五十回忌です。私は七十六才になっているわけですが、実現出来るよう健康に留意し、日々好日を過ごしたいと思います。二人の師への報恩行と心得て。

＊落慶…建物の竣工を祝う法要　＊授戒会…生前戒名を頂く式



# 新たな年を迎えて

住職（二十世）伊藤祥文

平素より慶昌院に対しまして尊いご信心を賜り誠に有難うございます。今年は花冷えが厳しかったこともあり普段より長く桜を愛でることができました。おかげさまでゆっくりと新緑のさわやかさを感じながら五月を迎えています。

昨年は慶昌院十六世宏嶽浄天大和尚の五十回忌の法要をつとめさせて頂くことができました。当日はたくさんのお檀家の皆様にもご焼香賜り改めて御礼申し上げます。私にとって曽祖父である十六世浄天和尚はまさに顔見ぬご先祖様です。ですが、その姿をありありと思い描くことができるのは偏にたくさんのお檀家の皆様のおかげです。

私たちはともすると目に映るものだけが全てだと思ってしまいますが、それは違います。私たちの目の前に広がる風景は、これまで先人たちが数え切れぬ苦労を乗り越えてつないでくれた尊い命の結晶であり、これからも穏やかに続く未来への期待そのものだと思います。

先日の法要は曽祖父浄天和尚がお檀家の皆様とともに苦労を乗り越え、慶昌院を未来へとつなげてきた姿を偲ぶ有難いおつとめとなりました。そして、その使命が今まさに私に託されていることを感じ、身の引き締まる思いです。

年号も「令和」へと改まり、まさに新たな時代へと動き出しています。そんな中にあってもいつまでも変わらず穏やかな笑顔が花開くお寺であれるように、精一杯つとめていきたいと心に誓います。








昨年秋の秋葉大祭「火まつり」に合わせて松井石材様（今池町、松井義明様）よりのぼり旗の石柱奉納の寄進を頂きました。

また境内東の寺院駐車場及び庭園工事において丸藤鉱山様（東寺山町、青山茂様）より土木工事補助の寄進を頂きました。

この場をお借りして、篤く御礼申し上げます。

（東駐車場はまだ封鎖されており通り抜けができなくなっております。ご迷惑をおかけしますがどうぞご容赦下さい。）







昨年秋に本堂で一般の方の仏前結婚式を執り行いました。

仏前結婚式は一般にはなじみの少ないものですが、神式や教会式とは一味違う厳かで穏やかな結婚式です。

慶昌院ではカメラマンや衣装の手配などもご案内させて頂いています。お気軽にご相談下さい。



慶昌院では公式LINEを開設しています。既にたくさんの方に登録頂いております。

法事やお参りの申込みから素朴な質問など、お寺への新たな窓口としてご活用下さい。

不定期で季節の風景やプチ法話をお届けしています。登録まだのお方はお気軽に登録下さい。

LINE









昨年の九月十六日に慶昌院十六世宏嶽浄天大和尚の五十回忌法要を行いました。御導師に本寺である赤津の雲興寺様を迎え、近隣の御寺院様とともに荘厳におつとめさせて頂きました。

浄天和尚は本堂、南墓地とともに白雲堂を建立された慶昌院中興の祖です。その偉業は今でも皆さんの記憶に残っておられることと思います。

当日はたくさんのお檀家様にご参列頂きました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

# 火まつり

## 11/17日

毎年11月第３日曜に開催しています

御祈祷：午前９時～１２時
　　午後１時～４時
火渡り：午後５時過より
和太鼓演奏：正午より

## 秋葉大権現 御宝前大祈祷

＊火盗潜消
＊商売繁盛
＊家内安全
＊厄災消除

祈祷料
＊一座・金二千五百円
＊特別祈祷・金壱万円

## 火防大祈祷

## 火渡り

どうぞお札を抱いて
お渡り下さい

＊＊無病息災
＊諸願成就

御朱印
火渡りをするとお札に御朱印がもらえます！

火渡りシンゴ
オリエンタルラジオ
中田敦彦さん作

## アキバでマルシェ

Marche de AKIBA

今年も開催！大好評のお寺マルシェ！！
瀬戸グルメから手作り雑貨まで
さらに出展を拡大してお待ちしています
どうぞご家族で
お友達と
お気軽にお越し
下さい

おでん接待
リピーター続出のみそおでん！

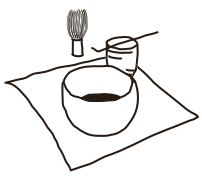
待合・呈茶
日常を離れて
お抹茶を一服

こまいぬ座
太鼓奉納演奏



## 火まつり お参りの流れ

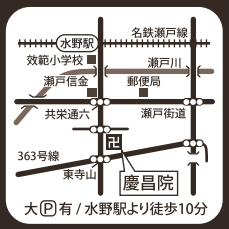

まずは受付で
氏名・住所を記入


待合で
お抹茶を一服どうぞ


本殿で
ご祈祷を受けます


ご祈祷後
御札をお授けします


火渡りでは御札を
抱いて渡りましょう



大Ⓟ有 / 水野駅より徒歩10分

- 秋葉三尺坊大権現出現霊場
- 尾張三三観音第二七番霊場
- 東海四九薬師第二六番霊場
- 曹洞宗認可参禅道場


曹洞宗 醫王山 慶昌院
瀬戸市城屋敷町34　0561-84-5533

【発行所】曹洞宗 醫王山 慶昌院 愛知県瀬戸市城屋敷町三四
（TEL）〇五六一－八四－五五三三
（FAX）〇五六一－八四－五五三一
info@keishoin.or.jp
http://www.keishoin.or.jp/